

はじめよう “信用取引サービス”

～信用取引とは～

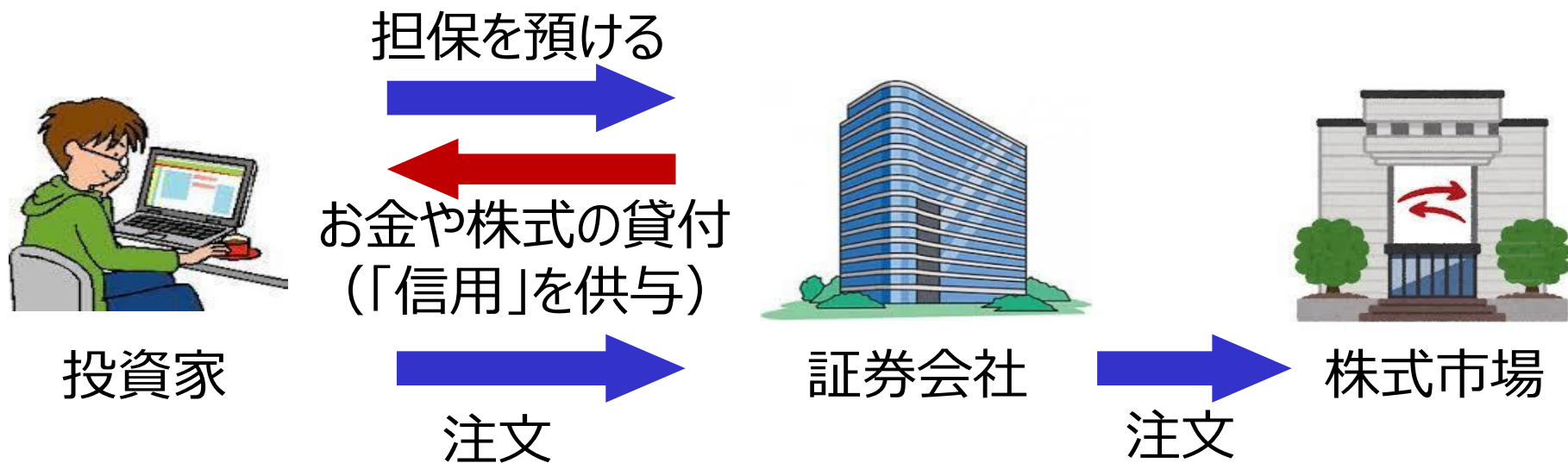
大和証券

Daiwa Securities

：「信用取引サービス」は、「ダイワ・ダイレクト」コース専用のサービスです。「ダイワ・コンサルティング」コースの信用取引とは一部ルールが異なります。：

1. 信用取引ってどんな取引？

「信用取引」とは、投資家が担保（委託保証金）を預けて証券会社からお金や株式を借りて行う取引のこと



2. 現物取引との違い

	現物取引	信用取引
投資手法	買って、売る	<ul style="list-style-type: none">➤ 買って、売る➤ (借りてきた株式を) 売って、買い戻す
決済方法	現物決済	<ul style="list-style-type: none">➤ 差金決済 (売りと買いの差額のみで決済)➤ 現引・現渡
取引金額	持っているお金の範囲内	<ul style="list-style-type: none">➤ 担保にしている金額の最大約3.3倍
主なコスト	株式委託手数料	<ul style="list-style-type: none">➤ 株式委託手数料➤ 信用取引金利 (買いの場合)➤ 信用取引貸株料 (売りの場合)➤ 逆日歩 (品貸料) (売りの場合)

3-1. 信用取引のメリット

手元資金に対して大きなリターンを狙える

◆現物取引

30万円までしか買えない

手元資金
30万円

株価2割
上昇

利益 (6万円)
取引金額
30万円

◆信用取引

手元資金の約3.3倍
(約100万円)まで取引できる

証券会社が貸付
(70万円)
手元資金
30万円

株価2割
上昇

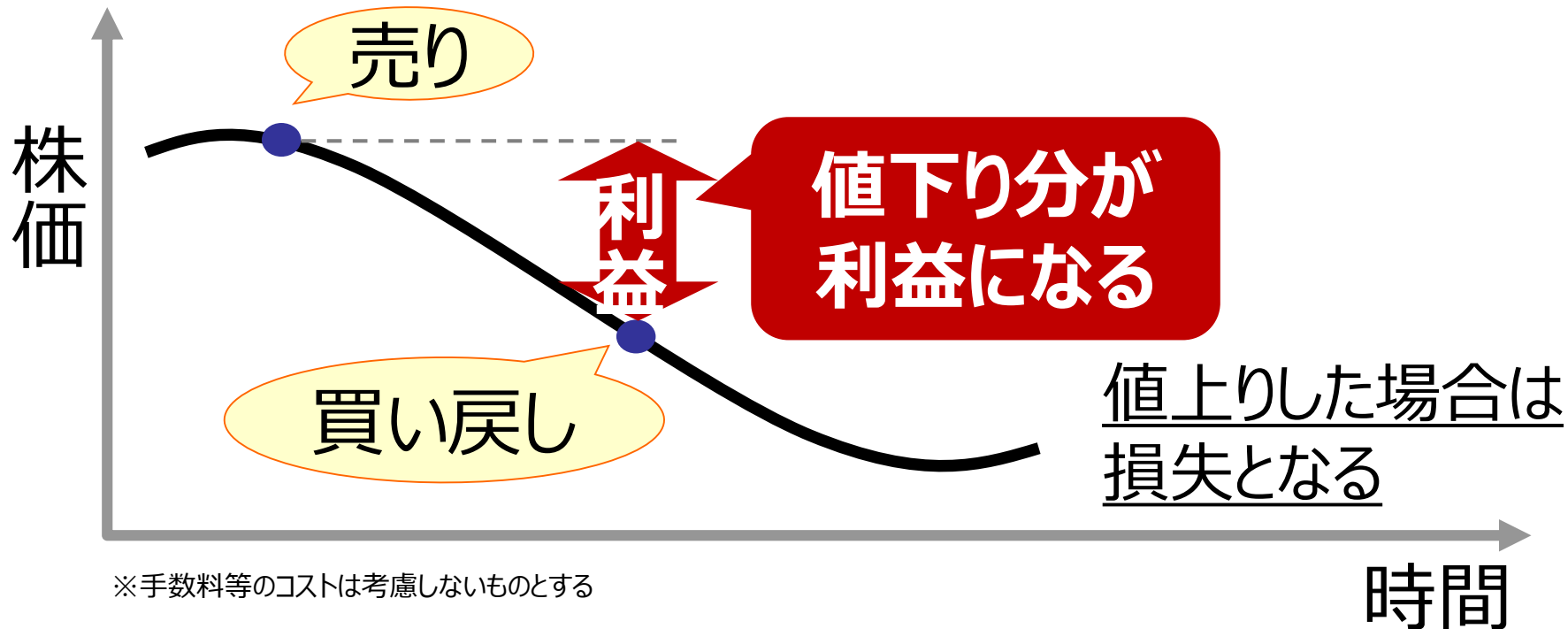
利益 (20万円)
取引金額
100万円

リターンが
約3.3倍

大きなリターンが
狙える代わりに、
大きな損失になる
可能性もあるので
注意！

3-2. 信用取引のメリット

株価が下がる時にも利益を出せる



※手数料等のコストは考慮しないものとする

4. 信用取引の種類

	制度信用取引	一般信用取引
取引ルール	返済期間や売買対象銘柄等が <u>金融商品取引所</u> により定められている	返済期間や売買対象銘柄等 <u>証券会社</u> により定められている
売買対象銘柄	金融商品取引所が定めた銘柄	証券会社が指定した銘柄 ※ 買いは <u>原則、全上場銘柄</u>
返済期間 ※	最長6ヶ月	証券会社によって異なる ※ 大和証券の「信用取引サービス」なら <u>原則、無期限</u>
逆日歩 (品貸料)	かかる	<u>かからない</u>

※ 上場廃止等により、別途決済期日が設定される場合があります

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等の諸費用について

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。

ご投資にあたってのリスク等

- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行なわれていないものもあります。

【商号等】 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
【加入協会】 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会